

日本医師アマチュア無線連盟会報

No.77

第41回MARS金沢総会開催報告

MARS 会長 JA7AOM 及川 忠人(岩手県)

平成 29 年 4 月 22 日～23 日に、第 41 回 MARS 金沢総会が無事開催されましたことを感謝しつつご報告申し上げます。さて今回の MARS 総会は昨年の第 40 回 MARS 福島総会の後を受けて、あえて MARS 金沢総会の担当幹事を JE9RWF 局岩堀嘉和先生(福井県)にご多忙の中お引き受け頂き、昨年の第 40 回 MARS 福島総会終了後の直後から周到な準備を重ねて今回の第 41 回 MARS 総会金沢大会に至りました。これまでの長期間における金沢の様々な事情に合わせてホテルや会場等の確保が極めて困難な環境の中にも関わらず、素晴らしい金沢総会の運営にご尽力頂いたことに満腔の謝意を申し上げたいと存じます。

金沢の観光環境が北陸新幹線の開通により極めて厳しい状況に置かれることが予想されたため、今回の MARS 総会のご案内が、8 月の末の締切というご案内となりました。例年の数か月前の MARS 総会申し込みの手続きに慣れていた MARS 会員には、予定を組む段階での大変さがあったのではないかと思います。また総会出席の変更等もあり、事務局を一手にお引き受け頂いた岩堀先生のご苦勞はとて

大きなものがあり、重ねてこれまでのご尽力を心から御礼を申し上げる次第であります。

昨年の MARS 福島総会でも話題になったことで御座いますが、東日本大震災の中で福島県の困難な課題は原発問題であることが論議されました。また福島市における MARS 総会の開催そして翌日のエクスカッションによる被災地視察等の現地から学んだことは、極めて大きな意義を持つことを実感致しました。東日本大震災被災地への復興の課題が大きな話題になり、その学びの時を与えられたことは素晴らしいことでありました。あらためて、昨年も多くのことを MARS 福島総会および南相馬への視察を含めた素晴らしい企画を実施された JP7FSO 局高瀬信弥先生(福島県)にも心からの感謝を申し上げたいと存じます。

最近の HF のコンディションは不安定のことが多い中にも係らず、お空でお会いして交信を楽しんでいる仲間が年に一度こうして一同に会って、共に Eye Ball Meeting を楽しむことが出来ますことは、この上の無い喜びでもあります。今回の総会は第 29 回日本医学会総会の特別記念局 8J3M/3~n の経験から MARS 特

別記念局 JM1ZZM の運用をすることが高瀬信弥先生の御尽力により計画され、さらにこれらの活動を検討することがとても大切と考えているところでもあります。

期せずして昨年の 4 月に起こり多くの傷跡を残した熊本大地震から早くも一年以上が経過致します。遠隔の地域での災害状況が昨今の局地災害への支援のあり方が問われていると思います。東日本大震災から 6 年半が経過しておりますが、小生は岩手県南地区への「心のケア」支援活動を年 4 回継続しておりますが、被災地域の心のケアの大切さと、地域被災地の課題が多くなり、一方困難な中にも新しい街づくりが着実に進んでいる陸前高田市の現状などを見ることが出来ます。まだまだ大災害への支援活動の在り方が課題となっていると思われれます。

また地元のことで恐縮ですが、昨年 8 月 30 日の台風 10 号の岩手県への直撃はとても厳しいものがありました。小生も JRAT の一員として被災地支援活動に参加致しましたが、海の大津波の災害とはおおよそかけ離れた被災状況は忘れられない「山津波」の体験となりました。しかし被災支援活動は岩手県内の協力により実施されて、いまだ多くの課題が山積しておりますが、常日頃の大災害への対応の準備を行うことの大切さを痛感させられました。

さて今回の第 41 回 MARS 金沢総会は、北陸新幹線の開通によるホテル確保の課題を見事克服されて、素晴らしい会場を確保され、さらに金沢ならではの鼓を背景にした日本舞踊伝統芸能を堪能することが出来ましたことは感激で御座いました。また金沢兼六園・新たに建立された金沢城址の素晴らしい復元建築物等、加賀 100 万石金沢の伝統と文化・歴史を感じ、

学ぶべきことが沢山あり、さらに楽しい懇親のひと時を与えられ、例年の総会とは一味異なる重厚絢爛な素晴らしい総会でありました。重ねて岩堀嘉和先生のご苦勞に敬意と感謝を重ねて申し上げたいと存じます。

さて第 41 回 MARS 金沢総会の経過の概略を述べさせて頂きたいと存じます。各 MARS 会員が宿泊場所のマンテンホテルに到着して、総会会場の料亭金城楼に集合し、ロビーにて受付を済ませて、午後 4 時半から金城楼会議室において、第 41 回 MARS 総会が開始されました。最初に JE9RWF 岩堀嘉和先生より開会のご案内があり、続いて今年度 silent key になられご逝去された JR7CAD 安田恒人先生ならびに JO2DBR 大村純先生を偲んで、JA3ASU 狭山信矩先生(京都府)によるモールス符号の音声送信が厳かになされました。

開会の挨拶が JE9RWF 岩堀嘉和先生によりなされ、金沢への集合されたことへの感謝の言葉が述べられました。ついで総会司会担当の JH7QFA 渡辺孝志先生(宮城県)から、JA7AOM 及川忠人 MARS 会長挨拶の指名があり、第 41 回 MARS 金沢総会への参加への感謝とともに総会運営にご尽力頂いた JE9RWF 岩堀嘉和先生への感謝の言葉が述べられました。

総会の議長の選任にあたったのですが、参加予定の JH2QBQ 丸山先生(愛知県)の突然の御欠席もあり、総会議長は JH7QFA 渡辺孝志先生が務めることで会場会員の承認を得て総会議事に入りました。

最初の議事は平成 28 年度庶務報告が JL1BGP 井上文正先生(東京都)により行われ、現会員数 93 局新入会員 3 名が報告されさらに、

MARS 局名録の追加変更が提案された。また MARS 社団局 JM1ZZM の免許状が交付され、社団局としての活動できる体制にあることが報告され、これらの庶務事項が承認された。

ついで平成 28 年度活動報告については、JA1KXT 相田信男先生から MD ネットの 3.5MHz 帯の年間の活動局の現状が別紙のように報告された。また同様に 7MHz 帯の活動実績について JH7QFA 渡辺孝志先生から別紙のとおり報告がありました。次に MARS ニュースの発刊については JF3JON 田中憲児先生から 8J3M/3 を中心とする記念局の運用結果を中心とする充実した内容の MARS ニュースが発刊されたことが報告された。次いで平成 28 年度 MARS 会計報告が成され、予算案と決算について報告され別紙の如く、監事の JA1FF 国府田守男先生(東京都)の監査報告も合わせて決算の承認を受けることが出来ました。

MARS ホームページについては担当の JH3TCC 家田勝幸先生(和歌山県)によって、HP の活用引用状況が別紙の如く報告された。アワード抽選会については懇親会にて行うこととして総会報告は終了となった。ついで議事審議に入り平成 29 年度の MARS 事業計画(案)が JA7AOM 及川忠人から提案され異論なく承認された。また役員構成の訂正について JA7AOM 及川忠人から提案があり、現理事の JP1HIS 奈良圭之助先生から MARS 理事退任希望が JH3AEF 東條純一先生(大阪府)を經由して事務局に提出されており、JP1HIS 奈良圭之助先生の理事御退任願いが認められた。その他の役員構成には変更がないことが了承されました。

また平成 29 年度予算(案)が JL1BGP 井上

文正先生から提案され、これも異議なく承認された。以上の総会の報告事項ならびに協議事項を終えて、JH7QFA 渡辺孝志先生は議長の席を外されて、総会閉会の言葉をもって総会は閉会と致しました。

次いで学術講演会が金沢医科大学循環器内科教授北山道彦先生によって行われました。



冠動脈インターベンションに関する知見という演題を拝聴することができました。この分野の先駆者の権威者であられる御講演は冠動脈インターベンションの歴史的背景の説明からはじまり、冠動脈インターベンション等の最近の動向を含めた先進的な内容であり素人には理解しにくい面もありましたが、貴重な最先端医療の御講演を頂いたことはとても有難いことであり、これらの準備をされた岩堀嘉和先生に重ねて感謝申し上げます。



参加会員懇親会は料亭金城楼の大広間に於いて開催されました。今回の運営担当をされた JE9RWF 岩堀嘉和先生より総会参加への感謝と歓迎の言葉があり、ついで加賀藩伝統の素晴らしい衣装の芸者さんの日本舞踊と独特の音を奏でる鼓が開宴前に披露され、金沢伝統文化の素晴らしさを堪能させて頂き、とても素晴らしい内容であったと思われました。



乾杯の音頭をとられた JH3AEF 東條純一先生から近年まれにみる素晴らしい内容の総会になり敬意と感謝を申し上げたいとお話があり全く同感でありました。また素晴らしい品のある地域の日本料理もたされ、金沢の伝統・文化・歴史を感じながら、楽しい相互の交流の一時を与えられて感謝でありました。

懇親会のあと、少しにぎやかな二次会会場と共に楽しい有意義な時を過ごして、ホテルにもどることが出来ました。

翌日のエクスカーシオンは天気にも恵まれて、金沢の市内に残された古い日本建築の集落モデル地域が紹介され、その後兼六園を散策して、さらに近隣の金沢城を訪れることが出来ました。復元された金沢城菱楼を見学することが出来ました。1809年に再建された形に復元された建築物は江戸時代に作られた方式をそのまま採用して、新しいながら金沢城の歴史を伝えて、さらに現代工法を併用した素晴らしい施設の見学をすることが出来ました。兼六園の近

くの立派な料亭での昼食を頂き、金沢駅にバスにて送って頂き、有意義なエクスカーシオンを終えることが出来ました。



今回の第 41 回 MARS 金沢総会は現地の岩堀先生に全面的に準備をご依頼することになり盛会に終わることが出来ました。今後の MARS 活動の在り方が問われていると思いますが、このように全国からメンバーが集まり年に 1 度ですが親睦の時が与えられることはとても感謝であります。今は MARS の活動の分岐点にあると思われます。金沢総会での楽しい語らいと MARS のさらなる発展を願いつつ、第 41 回 MARS 金沢総会報告とさせて頂きたいと存じます。来年は茨城県の日立市で再会することを楽しみに再会を心から願います。MARS 会員各局の御支援御協力に重ねて感謝申し上げます。

MARS 会員都道府県別分類

J A 1 17局

東京都 JA1FF JA1BOW JF1SXY
 JK1AIN JL1BGP JP1HIS
JR9FQO

神奈川県 JH1IAA JE1TNL
 埼玉県 JR1CDJ JR1JIC JL1LRJ

茨城県 JI1VAH

群馬県 JA1KXT JR1SJD

千葉県 JM1BIX

栃木県 JO1RTV

山梨県 なし

J A 2 5局

愛知県 JA2DQH JH2QBQ JR2AXV
 JS2BBE

静岡県 なし

岐阜県 JA2MTE

三重県 なし

J A 3 27局

京都府 JA3ASU JH3SQM JH3SQN
 JR3HFS JR3JJQ JF3BIE
 JF3ITN

大阪府 JA3BQT JA3LDH JH3AEF
 JF3EKP JF3MTM JL3SIK
 JM3FUW JO3VKD

滋賀県 JF3PMG

兵庫県 JA3XED JH3GOB JH3QMF
 JO3RUL

奈良県 なし

和歌山県 JH3TCC JF3JON JI3CIN
 JJ3KUL JM3BCQ JN3ASW
 JP3NGG

J A 4 3局

岡山県 JE4EWM(exJA5LDZ)

広島県 JH4DPL JH4UYB

鳥取県 なし

島根県 なし

山口県 なし

J A 5 3局

香川県 なし

徳島県 JA5GPJ JA5POS

愛媛県 なし

高知県 JH5KAJ

J A 6 6局

福岡県 JA6BMB JA6RQK JH6IBM
 JE6IUM JG6DAO

大分県 なし

熊本県 なし

宮崎県 なし

鹿児島県 なし

佐賀県 JR6EZJ

長崎県 なし

沖縄県 なし

J A 7 17局

青森県 なし

秋田県 なし

岩手県 JA7AOM JA7PPA JH7IIR
 JH7OLB JH7XGQ JE7EDF

山形県 なし

宮城県 JA7DOR JA7EVM JA7WTH
 JH7CAI JH7EQW JH7QFA
 JP7DMV

福島県 JA7NME JE7GFM JO7XVL
 JP7FSO

J A 8 1局

北海道 JA8JDQ

J A 9 2局

富山県 なし

石川県 JK1QLR

福井県 JE9RWF

J A 0 3局

新潟県 JH0LME JR0NQU JR0QWW

長野県 なし

_____は他エリアからの移動局

計84局 (2017年10月現在)

第41回 MARS 金沢総会

2017年4月22日(土) 午後4時30分～

料亭 金城楼 会議室

開会の辞 JE9RWF 岩堀嘉和(福井県)

Silent Key 送信 JA3ASU 狭山 信矩(京都府)

司会進行 JH7QFA 渡辺孝志(宮城県)

開会の挨拶 JE9RWF 岩堀嘉和

会長挨拶 JA7AOM 及川忠人(岩手県)

議長選出 JH7QFA 渡辺孝志氏を参加会員からの推薦により選出

報告事項

平成28年度庶務報告 JL1BGP 井上文正(東京都)

MARS 会員(会員数93局)の動静と、社団局 JM1ZZM の再免許について。1.9MHz～430MHz 50W、1200MHz 10W で平成29年7月20日から5年間有効。

平成28年度事業報告

MD ネット 3.5M JA1KXT 相田信男(群馬県)

毎週水曜日 06:00～06:30JST

3.565MHz±3kHz (資料1)

比較的安定している状況のご報告となった。

MD ネット 7M JH7QFA 渡辺孝志(宮城県)

7MHz 帯の MD ネットの年間の交信状況を別紙(資料2)の如く、報告した。

毎週水曜日 06:30～07:00JST 7.150MHz

MARS NEWS JF3JON 田中憲児(和歌山県)

代 JH3TCC家田勝幸

8J3M の運用を中心に編集した MARS

NEWS No76 号を発刊した。

MARS HOME PAGE JH3TCC 家田勝幸(和歌山県)

ホームページの閲覧状況が報告された。

MARS AWARD JI1VAH 天谷龍夫(茨城県)

2016年5月より、JA1KXT よりアワードマネージャーを引き継ぎました。医学会総会の特別記念局 8J3M 運用によるアクティビティの上昇や 75 ポイントのボーナスポイントのため、多くの申請をいただき、計 16 枚発行しました。

1)MARS 医学 アワード 発行状況

A クラス・・・申請なし

B クラス

No	日付	コール	特記
B183	5/24	JA1GLE	21MHz DX
B184	7/16	JI1AFG	7MHz SSB
B185	7/28	JO1EMR	144MHz FM
B186	7/28	JO1EMR	144MHz SSB
B187	12/24	JA1GAO	7MHz CW
B188	1/20	JH1RYN	7MHz SSB AJD

2)MARS 医学 アワードⅡ 発行状況

A クラス

No	日付	コール	特記
A8	5/24	JH0LME	
A9	6/23	JI1AFG	
A10	6/24	JO1EMR	
A11	6/28	JM1ATF	CW

A12	9/10	JA1HRB		3)MARS 医学 アワード 収支報告
A13	11/26	JA6GAO		収入の部 前年度からの繰越 1,971 円
A14	3/16	JI2SVL		医学アワード申請料
B クラス				800×4=3,200 円
No	日付	コール	特記	(2枚は身障2級のため免除)
B13	5/10	JE1IWA		合計(A) 5,171 円
B14	5/18	JA1GLE		支出の部 B4 クリアファイル 2,288 円
B15	6/16	JA1VGV		送料 205×14=2,820 円
				合計(B) 5,108 円

MARS 医学アワードの年間賞の受賞者は、懇親会での阿弥陀くじの結果、JA1GAO 局に決定し、144・430 ハンディトランシーバー YAESU VX-3 を贈呈します。

* A-B=63 円 ⇒ 次年度に繰り越し
年間賞トランシーバーVX-3 購入費(23,280 円)送料(780 円)は、本会計から支払われる。

平成28年度 会計報告 JL1BGP 井上文正

収入の部	予 算 案	決 算
繰越金	1,492,195	1,492,195
内訳 郵便貯金	1,482,068	1,482,068
現金	10,127	10,127
会費収入	500,000	511,000
その他 利子	150	58
京都総会余剰金		15,610
収入合計(A)	1,992,375	2,018,863

支出の部	予 算 案	決 算
MARSニュース	150,000	81,864
MARSアワード副賞	30,000	23,280
ホームページ管理費	120,000	120,000
総会助成金	100,000	100,000
事務員謝礼	60,000	60,000
送料,通信費	30,000	992
MARSニュース他		18,144
慶弔費	20,000	0
事務用品費	5,000	288
雑費	5,000	0

JM1ZZM再免許申請	0	3,050
慶弔費	20,000	0
支出合計(B)	520,000	407,618

(A)-(B)=次年度繰越額	1,472,375	1,611,245
内訳 郵便貯金		1,602,407
現金		8,838

会計監査報告

帳簿、通帳、領収書等を厳正に確認の結果、会計は適正に運用されていることを確認しました。

平成29年4月22日 監事 JA1FF 国府田 守男

協議事項

平成29年度事業計画案 JA7AOM 及川忠人 承認

- | | |
|-------------------------------------|---|
| 1) MD ネットの充実をさらに図り参加局の拡大を図る | 7) 8J2M/n 日本医学会総会記念局およびクラブ局JM1ZZMの運営の在り方を準備検討して、活動を継続する |
| 2) MARS News の充実を図る | 8) 福島原発、局地大災害等の課題を学び、被災地支援の在り方を検討する |
| 3) MARS アワードを継続する | 9) 各地域および相互の MD-Net の緊急時の在り方を検討する |
| 4) MARS Home Page の充実を図る | 10) その他 |
| 5) 局地災害時の MARS network の対応の具体策を検討する | |
| 6) 若い世代の MARS 会員の入会支援活動を推進する | |

新入会員 JP3NGG 西岡 昭規 先生 (和歌山県海南市)

平成29年度予算案 JL1BGP 井上文正 承認

収入の部		支出の部	
前年度からの繰越金	1,611,245	MARSニュース	150,000
郵便貯金	1,602,407	MARSアワード	30,000
現金	8,838	ホームページ管理費	120,000
会費収入	500,000	総会助成金	100,000
その他 利子	50	事務員謝礼	60,000
預金利息	100	送料・通信費	30,000
合計(A)	2,111,295	慶弔費	20,000

事務用品費	5,000
雑費	5,000
合計(B)	520,000

次年度への繰越金(A) - (B) = 1,591,295

特別講演会 17:30~18:00
『冠動脈インターベンションに関する知見』

講師: 金沢医科大学
心血管カテーテル治療科
兼 循環器内科 教授

北山 道彦 先生



エクスカーション

4月23日(日)

マンテンホテル 8:00 発

東茶屋街 散策

金沢城 散策

兼六園 散策

昼食は、兼六園入口の料亭 見城亭 にて

金沢駅 午後2時 解散



懇親会 18:00~20:30

料亭 金城樓



第41回MARS金沢総会出席者

JA1FF	国府田 守雄
JA1KXT	相田 信男
JS1WSH(KXT XYL)	相田 洋子
JI1VAH	天谷 龍夫
JL1BGP	井上 文正
JL1XWR(BGP XYL)	井上 喜代
JL1LRJ	安斎 雅夫
JA3ASU	狭山 信矩
JR3RJY(ASU XYL)	狭山 陽子
JH3AEF	東條 純一
JH3TCC	家田 勝幸

JF3JON	田中 憲児
JH6IBM	石井 文理
JR6EZJ	前山 隆太郎, XYL
JA7AOM	及川 忠人
JA7NME	黒田 直人, XYL
JH7QFA	渡辺 孝志
JP7FSO	高瀬 信弥
JE9RWF	岩堀 嘉和
JR0NQU	山本 賢, みちこ
特別講演講師	北山 道彦

第42回日本医師アマチュア無線連盟日立総会のご案内

総会・懇親会・学術講演会 平成30年4月21日(土)

エクスカーション 平成30年4月22日(日)

場 所 ホテルテラスザスクエア日立 <http://square-hitachi.jp/>

茨城県日立市幸町1-20-3 電話 0294-22-5531

JR常磐線日立駅より徒歩1分(JR上野駅よりスーパーひたちで1時間30分)

4月21日(土)

総会受付 午後4時30分から

総 会 午後5時～午後6時

学術講演会 午後6時～午後7時

講師 日本医師会常任理事 鈴木邦彦先生

『地域における医療機関の役割(仮題)』

懇親会 午後7時20分～午後9時

二次会 ホテル内ラウンジにて

宿 泊 ホテルテラスザスクエア日立

4月22日(日)

朝 食 午前7時から ホテル内レストラン

エクスカーション

集 合 午前8時30分 ホテルロビー

出 発 午前9時 バスにて水戸方面に

借楽園散策 好文亭見学

昼 食 午前11時45分 とうすい庵

光圀公思想の医食同源「黄門ランチ料理」

午後1時30分 弘道館見学

解 散 午後3時頃 JR水戸駅南口

予 算

宿泊 シングル9,000円 ツイン17,000円

総会費 エクスカーション費

参加人数により多少の変動有りますが、ほぼ例年通りの予算を考えています。

資料1

MARS・MD-net on 80m band (2016.4.~2017.3.)

毎腫水曜日 0600~0630JST / 3.565 (3.562)MHz ±3kHz QRM (まず 3kHz ずつ上がる)

(0545 頃から JA1KXT,JI1VAH が QRV pse BK)

2016 年 4 月 6 日	12	日立では先週桜開花。福島総会での桜満開を期待。	10 月 5 日	12	3562。VAH/0。
4 月 13 日	14	新発田では満開の桜と積雪	10 月 12 日	12	VAH:夏は弱かった 3 の信号が上がってきた
4 月 20 日	14	LRJ:愛馬出走/23 日福島総会 TKS FSO	10 月 19 日	13	先週同様 3←→7 が久しぶりにオープン。こうして始まる！！
4 月 27 日	13	JM1ZZM/7(op.JP7FSO)QRV	10 月 26 日	12	GOB:完全に各局が聞こえる
5 月 4 日	9	3←→7 が NG。強風。IBM,EZJ:QRV。3562	11 月 2 日	12	AEF:Ant 実験継続中。
5 月 11 日	9	0619 突如 CondxDWN。	11 月 9 日	11	Condx オープンが遅れハラハラ
5 月 18 日	11	新発田の田植え終了。QRM→3568	11 月 16 日	13	1 はローカルスキップ,1 に 3 入感なし,0 遠し ⇒0611JST にオープン。
5 月 25 日	9	QRM→3568	11 月 23 日	11	VAH/7,昨日地震津波、5 年前を思い出す。
6 月 1 日	14	SJD:ハワイから帰宅。LME:DX ↑。	11 月 30 日	12	全国 FB.LRJ:インフル 200 人!宮城 MHC 忘年会
6 月 8 日	11	Wid QRNN。LME:2nd 結婚式。	12 月 7 日	11	0605 によりやく開始の condx。今年最低。
6 月 15 日	12	辛うじてネット一筆書き。VAH:ゴージャに虫。	12 月 14 日	11	JA7VAB の喪中葉書 QSP.以後 3565 ほぼ定着
6 月 22 日	12		12 月 21 日	12	Condx 悪し。
6 月 29 日	10	FSO:2ndShack 落成検査 OK	12 月 28 日	14	本日 Condx 良好。
7 月 6 日	10	VAH:ゴージャ伸びてきた。	2017 年 1 月 4 日	10	Condx 開けず、苦勞。
7 月 13 日	9	NQU&BMB:スカイプで QSO	1 月 11 日	12	JR7CAD:SK に。→Net にて黙禱。BMB が QRV
7 月 20 日	11	LME:JE0BWH と会った。皆に宜しくと。 LRJ/0。QRN→3562	1 月 18 日	5	←実は 2(群馬)+3(QFA,VAH,BMB)+(GOB wid KXT)とバラバラ
7 月 27 日	11	0 エリア昨夜から雷。	1 月 25 日	13	KXT:500W に QRO して漸く全国カバー。
8 月 3 日	13	3562 に QRV	2 月 1 日	13	当初開かず、0556JST にオープン。
8 月 10 日	13	3562.KXT:一昨日赤とんぼ、秋の風	2 月 8 日	10	Wid QRNNNN
8 月 17 日	11	3565 に QRV	2 月 15 日	12	AEF:50 年ぶりの白馬同窓会。
8 月 24 日	11	ひどい QRN	2 月 22 日	11	QRN+ローカルスキップで開けるまで時間要す
8 月 31 日	12	AOM/7→各局に FB に届く。	3 月 1 日	12	LRJ:X さん没。vySRI!
9 月 7 日	13	RWF チェックイン開始。FSO:来週 W へ。 SJD:来週 KH6。	3 月 8 日	12	QFA:先週 3 か月ぶりに 40m つながった。
9 月 14 日	13	LRJ:activity ↓ と rpt。	3 月 15 日	11	QFA:やはり 40m 不調。
9 月 21 日	12	KXT 休む/MC は JR1SJD TKS	3 月 22 日	12	AEF:sri offBand。
9 月 28 日	12	3562。ラウンド中に condxDWN	3 月 29 日	11	静かに、春の便り、MARS 総会への期待、語り始められる。

* 参加局: JA1KXT, JR1CDJ, JR1SJD, JI1VAH, JL1LRJ, JH3AEF, JH3GOB, JF3MTM, JA6BMB, JA6IBM, JR6EXJ, JA7AOM, JH7QFA, JR7CAD, JP7FSO, JE9RWF

資料2 MD-net 7M(40m)ロールコール

毎週水曜日 6:30~7:00 7.150MHz

28.4.27~29.4.19

参加局数 21局

MARS 7M キーステーション JH7QFA (渡辺孝志)

今期の7M、お空のコンディションは近年にもない最悪なものでした。

11月22日から2月22日までの3か間当局的強力な電波も宇宙の彼方に消えて行く感じで全くコンタクト出来なかったのは12回に及びました。2月15日、BMBさんと59でのコンタクト、3月1日からはIBMさんとコンタクト出来、やっと開けてきた感じでございました。

スキップの際にはIBM、BMB、AEF、EZJ、GOB、TCCの各局にはお世話になっております。

6時半前から待機でファーストコンタクトのQBQさんFFさんにこれも多謝。

QFAにとって最大の痛恨はJR7CADさんが12月4日の交通事故、28日にサイレントキーになられた事。MARSの第1回仙台総会時から40年以上のお空のお付き合い、金沢総会にも参加の予定でした。

今年はニューカマーの局長さんが少しでも多くネットに参加、これからもお空が賑やかになる事を期待しております。

ちなみにQFAは06:30amから7150付近でコール、今年も一度もお休み無しでした。次期もそのつもりで。



局名	コンタクト回数
JA1FF	25
JA1KXT	1
JR1CDJ	26
JL1LRJ	12
JI1VAH	32
JH2QBQ	23
JH3AEF	33
JH3GOB	34
JH3TCC	27
JF3JON	3
JM3FUW	1
JA6BMB	10
JH6IBM	9
JR6EZJ	8
JA7AOM	30
JH7QFA	37
JR7CAD	21
JP7FSO	27
JE9RWF	15
JHOLME	1
JRONQU	22

新潟県医師アマチュア無線クラブ

JHOLME 姉崎 静記 (新潟県)

当局が少年の日の夢が漸く叶ってアマチュア無線を開局したのは、昭和53年の秋、36歳の時でした。

丁度この頃に「日経メディカル誌」に「日本医師アマチュア無線連盟(MARS)」の記事が載って居り、同業者のクラブの存在を知りまして、早速入会しました。

MD ネットに初めて参加したのは、昭和54年1月の7MHZでしたが、当時のMCを担当しておられた故石田太郎先生(JA1KF)の非常に良く通る金属的な声と素晴らしいオペレーションテクニック、そのハイパワーは今でも耳に残っています。

この当時のゼロエリアでは、MD ネットの副会長であった故石附福衛先生(JA0CEP)と常連であった故山口愛先生(JA0SYW)が出て居られ、お二人の紹介で「新潟県医師会アマチュア無線クラブ」に入会させて頂きました。

この当時のログを見て見ますと40年近く前の事ですが、JA1FF, JA1KXT, JL1BGP, JL1LRJ, JH3AEF, JH7EQW, JH7QFA が参加されておられ、現在でも現役で活躍中の息の長い会員が多いのに驚かされます。

昭和54年4月に「新潟県医師会アマチュア無線クラブ」(JA0YJY)の総会に初めて参加させて貰いました。

当時の会長は故岡田正雄先生(JA0MHW)であり、JARL 新潟クラブ(JA0YAA)の会長も兼務されておられたので、合同の総会であり、JA0YAA は地域クラブですので、若い人が多く、非常に賑やかでした。

しかし、JA0YJY は会長と会計担当の故長

谷川健次郎先生(JA0HGN)と山口先生の3名のみであり、お三方ともに大正生まれの50代後半でして、当時36歳の小生は非常な違和感を覚えました。

その後も年に一回のJA0YJYの総会に出席しましたが、出席者は年配の医師が数名のみであり、懇親会でも無線の話は全くなく、話題は昔の医師会、医局生活、馴染みの芸者の話等であり、本来は趣味の一つであるアマチュア無線のクラブとは何か違うと感じました。

その後、JA0YJYの関係資料を医師会の事務局から貰いまして、その成り立ちが良く分かりました。

半世紀前の昭和39年6月、大規模な新潟地震が起り、全ての通信網・交通網が遮断されて中央との連絡網が完全に途絶え、災害の情報を伝達出来なかった時にアマチュア無線が大活躍したと言う事がありました。

この当時の新潟市医師会では、救急医療体制整備の一環として、災害時に於ける医師相互と医療機関、災害関連団体との連絡、情報伝達のためにアマチュア無線を活用すべく検討をしていました。

その結果、昭和44年に当時の医師会員では唯一のアマチュア無線技士であり、JARL新潟支部の会長を務めて居られた故石附先生を中心として、新潟市医師会が講習会を開催し、医師会員と従業員から多くのアマチュア無線技士が誕生しました。

この後、昭和45年2月に新潟市医師アマチュア無線クラブが、同年6月には新潟県医師会アマチュア無線クラブ(コールサインは

JA0YJY)が誕生しています。

全国的に見ても医師の職域クラブとしては初めての試みであったと思われますが、趣味としてのクラブではなく、医師会の救急業務体制整備の一環として誕生した団体でした。

その後に大阪府、京都府、宮城県に同種のクラブが作られています、あくまでも趣味の団体として位置づけだった様です。

この事業は新潟県医師会の業務としてで整備され、新潟市医師会館に基地局としてのアンテナと無線機が設置され、県内各地の医師会館にもアンテナと無線局が整備されまして、相互に無線で情報交換が出来る体制整備が為されました。

毎年の9月1日の防災の日には、災害救助訓練場所と近くの医師会館、更に基地局としての新潟市の局を無線で結んで、情報の伝達訓練を行っていました。

これは40数年前の事であり、緊急時の情報通信手段としては固定電話か電報しかない時代でしたが、山岳遭難、ヨット事故、船舶での急病人発生時等にはアマチュア無線が活躍した記録が多く残っています。

昭和56年には第5回 MARS 総会が新潟市で開催され、当局も出席しましたが、会長であった故平野実先生(JH3SRF)と故岩動隆一先生(JA7DF)の明治生まれの両 OM を始めとして、会員の大多数が大正から昭和一桁生まれであり、井上文正先生(JL1BGP)と小生が30台の最年少会員でした。

当時のMARSのMDネットには、参加局も多く、“one day AJD”が完成することもあり、新潟県からは JA0CEP, JA0SYW, JE0BWH(星野邦夫先生、新発田市)と当局が毎週のように参加していました。

更にこの当時には、宮城メディカルHAMネットが活発に活動して居り、仙台市の故小

野寺三郎先生(JH7LDO)を中心として東北6県に跨る「東北ドクターネット」が毎週木曜日に運用されていました。

新潟県の JA0CEP, JA0SYW の両局もこのネットに参加しており、当局も年に一回の各県持ち回りのアイボールミーティング(セブン・ゼロのミーティング)に参加させて頂いた事も有り、新潟県が幹事で、東北地方の先生方をお迎えした事も有りました。

この他に新潟市と仙台市とが蔵王のレピーターでコンタクトが可能な事から、セブンとゼロのレピーターを介してのネットも行われました。

小生は新潟県のクラブの会合には、毎年出席していましたが、当時の会は創立当時の新潟市医師会の救護無線班のOB会的な色彩が強く、新規の会員の入会は殆どなく、常連の皆様の懇親会でもあり、本来の趣味の団体とは異なるものでした。

このために、平成4年で退会しました。

しかし、個人的には自宅で毎日の様に外国との交信を行い、MARSのロールコールには毎週声を出し、各地持ち回りの全国ミーティングにも時々顔を出して、HAMの活動は継続していました。

平成27年9月、144FMで交信した局が同業者と分かり、様々な話から“新潟県医師アマチュア無線クラブ”が未だ存続しており、懇親会も開かれており、会長は小生の良く知っている医師であるとの情報を得る事が出来ました。

現会長の河合千尋先生(JA0CBU)に会議でお会いした際、同じ趣味仲間である旨を伝えまして、平成28年2月の新年会に20数年振りに参加させて頂きました。

総数10名の参加でしたが、会員はすっかり若返り、アマチュア無線がやりたくて国家試

験を受験して開局し、現在でも無線を楽しんでいる会員が多い、本来の趣味の会に変貌していました。

参加局は、上級ライセンスの取得者が多く、DXCC の会員が小生を含めて5名も居り、その内2名は HonorRoll であり、RTTY 等のデジタル通信を行っている局、遠隔通信操作、D-STAR や WIRES の様な最新のハイテク技術を使用した通信方式を行っている局等、アクティブな局が多く、話題も無線一本であり、非常に充実した楽しい会でした。

平成29年3月18日には、平成28年度の懇親会が開催されましたが、今回は新たに「新潟市歯科医師アマチュア無線クラブ」に働き掛けて、合同の会合となりました。

出席者は医師9名、歯科医師は4名の合計13名でしたが、お互いに初対面でも趣味を同じくする同志であり、話題は最初から無線関係のみで、和気あいあいと会は進み、次の会合を約束してお開きとなりました。



写真は当日の参加者です(敬称略)

◎医師会は河合千尋(会長、JA0CBU)、内山政二(JA0EVJ)、上村諭(JA0JLM)、丸山俊行(JA0RPC)、大川豊(JH0INE)、姉崎静記(JH0LME)、山本賢(JR0NQU)、草間昭夫(JG0EXP)、高橋善樹(JJ0RCD)。

◎歯科医師会は、塩谷亨(会長、JA0CAL)、

登坂邦彦(JJ0QOC)、岡田匠(JJ0QQI)、小暮一雄(JP1LJQ/0)でした。

近年、情報伝達の手段はIT化の急激な進歩により、インターネット、スマホ、ツイッター等の SNS の使用により、ありとあらゆる世界中の情報が音声・画像で瞬時に得られる、発せられる時代でもあり、今更何がアマチュア無線と言われる事が有ります。

実際、日本のアマチュア無線人口は、全盛期の半分以下に減少していますが、これは近距離用の無線機を使用して、地元の仲間と交信を楽しんでいた人たちが、ケータイ、スマホに転向したためであり、本当の無線大好き人間の数は今でも変わりません。

アマチュア無線の世界でも IT 化は顕著であり、ハイテク機器を使用した従来では考えられない様な様々な通信方式が開発され、交信データの処理とカードの発行は、“ターボハムログ”なしには考えられません。

現在のアマチュア無線は、電波を使用して楽しむゲームの様な側面が大きいのですが、新しい通信方式を楽しんだり、昔と同じく地域・国・世界にと仲間の輪を広げていく楽しみが大きいと思います。

しかし、特記すべきは、業務では用いられなくなった CW が、今でもかなり広く使用されている事です。

小電力で、簡単な設備で簡単に世界中の仲間と交信できる通信方式であり、小生は専らこの方式を愛用していますが、近年はデジタル通信方式の RTTY, PSK-31, JT-65 等の新しい方式も次々と開発されて、飽きる事は有りません。

アマチュア無線の別名である「キングオブホビー」の名前は今でも健在です。

和歌山県医師会ハムクラブ(JH3ZIK) 移動運用記とアマチュア無線へのお誘い

JN3ASW 三好 壮一(和歌山県)

JH3ZIK 和歌山県医師会ハムクラブでは毎月発行している和歌山県医師会発行の和歌山県医報に平成 29 年 4 月 10 日号、5 月 10 日号、7 月 10 日号、11 月 10 日号に、県内のドクターハム通信網を形成するため活動報告を兼ねて記事を投稿しました。

1 回目(4/10 号)は昨年の活動報告であり、今年度分と重複するので割愛させていただきます。

(18 年前に JI3CIN 仲井間憲要先生の和歌山県医報の記事を読んで JH3ZIK と MARS に入会した JF3JON 記)

ハム(アマチュア無線)へのお誘い……第2弾(5/10 号)

～～アンケートご協力お願い～～

和歌山県医師会ハムクラブ(JH3ZIK)三好 壮一

お持ちの方も発見!)

前号(4/10 号)で、非常時のアマチュア無線の有用性をご紹介しましたが、私共県医師会ハムクラブ(以下 ZIK)では県内のドクターハム通信網を形成したいと考えています。

後は一人でも多くの無線運用可能な方が揃えばドクターハム連絡網は完成できると思いますのでご協力の程お願い申し上げます。

以前県医師会主催で無線従事者免許証獲得の講習会を企画しましたが、参加希望者が少なく実現しませんでした。前号で ZIK の活動を御報告したことを期に、医師・家族・医療施設スタッフの方で ①既に無線従事者免許証を取得されている方(開局の有無に係わらず) ②無線従事者免許証を取得の希望者がございましたら、御一報いただけませんか? 連絡先は巻末に表示いたします。

先日無線局のポイントの一つとして、ビッグ愛屋上に目を付け、市医師会、ビッグ愛管理事務所の全面のご協力を得まして、ビッグ愛屋上のヘリポートを見学してきました。各方面の了解の下、アンテナを設置できれば絶好の無線局が開設できると確信できました(市医師会事務局スタッフに無線従事者免許証を



和歌山県医師会ハムクラブ～JH3ZIK～移動運用ご案内(7/10号)

当クラブでは毎年夏、ベースを離れ野外無線運用訓練を行って、非常時に備えています。

本年は8月19日(土)16～24時に高野山

で行います。

見学(見物?)をご希望の方は夕食弁当手配・運用場所詳細をご案内しますので、ご連絡ください。参加費は不要です。

和歌山県医師会ハムクラブ移動運用記とアマチュア無線へのお誘い (11/10号)

当クラブ恒例の移動運用(ベース局を離れ、非常時の野外運用訓練)は毎年高野山周辺で行われます。

今年は例年通り高野山ケーブル高野山駅近くで8月19日に運用しました。参加メンバーは、JH3BVO(玉井)・JH3TCC(家田)・JJ3KUL(高田)・JP3CCC(小野田)・JP3NGG(西岡)・JN3ASW(三好)の6局でした。その他、一般見学3名が参加し、夕食(山内の精進料理店デリバリー)・歓談・交信で数時間を過ごしました。なお、運用場所が交通帯にはかかっていないものの道路の一部になるため、所轄警察から道路使用許可を得て運用しています。

その模様を何枚かご紹介致します。交信実績は別表の通りです。



JH3ZIK 三好 壮一(JN3ASW)



さて、非常事態で通信網(電話等)が壊滅状態となり、安否確認・救助・医療等の連絡が不可能となった場合、無線が最大の武器となります。官公庁無線は一般連絡には使用できず、そこで役立つのがアマチュア無線です。先の阪神淡路、最近では東日本大震災

の折にアマチュア無線通信網が大活躍したことは幾つも報告されています。しかし、一部の興味ある人が運用しているだけでは大きな効果は期待できません。



現在県医師会が運用している「Safety Link24」とて、携帯を含めた通信網が確保されて初めて有効となります。そこで少しでも多くの医師会員がアマチュア無線の運用が可能となり、非常災害時の通信網が確立されれば安否確認だけではなく救命医療体制の確保に役立つものと考えます。当然アマチュア無線の運用には無線従事者免許が必要ですし、無線機も必要です。免許取得には1～2日の講習会で小学生でも取得できます(第4級アマチュア無線技士免許)。

この4級免許で使用できる出力(たとえば小型ハンディ無線機)でもかなりの遠距離でも通信可能(私の経験では、2～3W 出力機でも和歌山市内、海南、葛城、有田方面は交信可能)ですし、通信網があれば、情報をリレーして遠距離までも伝達可能です。医師会会員間のみならず、家族、従業員にまで輪を広げれば一層有用なものが出来上がると思います。私達ハムクラブでは、ご希望があれば免許取得、無線機購入のお手伝いに労は厭いませんのでご利用ください。ある程度的人数が集まれば(20名以上)プライベート的な講習会を開催でき、4級無線免許(VHF/UHFでは出力20Wまで使用可能)を取得で

きます。講習会開催について和歌山県医師協同組合でもセミナー形式で協力できると考えています。

交信実績

HF(7,21MHz)帯 担当は私でしたが、車載アンテナを更新して臨み、北海道～沖縄まで、数局との交信に成功しました。

50MHz帯 約30局と交信

V・UHF(145,430MHz)帯 この周波数帯は以前は空き周波数を捜すのに苦勞する位でしたが携帯電話の普及と共に交信が激減しています。何度かコールを試みましたが応答ありませんでした。



なお、9月10日には、日本アマチュア無線連盟(JARL)和歌山県支部主催の非常通信訓練に参加(145.500MHz,FM)、和歌山市内、紀の川市、海南市等の数局と交信、和歌山市内の他局ではロケーションによっては那智勝浦町との交信にも成功したようでした。

本年5月来何度かお誘いの記事を掲載して頂きましたが、お陰様で免許を取得された、又は免許を既にお持ちで、開局免許を再取得された先生が何人かご報告を頂戴できました。私共のPRが少しは効果がでてきたようで、心強い限りです。

皆さん、楽しい無線交信を通して交流の輪を広げると共に、非常時対策としても有効なアマチュア無線の世界への更なるご参加をお願い申し上げて御報告を終わります。

百里の道も一歩から 1950 保

JH3AEF 東條純一(大阪府)

単純明快、意味は読んで字のごとくである。百里の道も一歩から、後段の 1950 保は各位のご想像どおり西暦 1950 年、保は男性の名前、たもつ、N 保 先生を示している。見るたびに名句と感じ、何かいわれのある故事でもと、何度かことわざ辞典をひもとくが見当たらない。百里の項には“百里を行くものは九十里を半ばとす”があるのみだった。これまた名言であるが故事名言の解説はどなたか得意な先生にお任せしよう。

写真でお示しする一客の質素な湯呑がある。れっきとした赤膚焼きの湯呑である。そこにのびのびと書かれたこの一句、実に達筆、湯呑のカーブした表面にこんなに素晴らしい筆跡をのこすとは。1950 年は私が小学校を卒業した年、N 保先生は私が小学五年、六年生の時に担任をお勤めいただいた先生である。あの当時、一学級には 50~60 名の生徒が在籍していた。その生徒各人に一客ずつ卒業記念としていただいたのがこの湯呑である。生徒会費の足しにと古新聞を数枚ずつ持ち寄ることがしばしばであったあの頃、卒業記念品代を徴収するなど想像もできない時代である。何せ我々の田舎小学校には卒業記念アルバムもなかった時代の事である。でも何かの機会に、先生は赤膚焼きの山の奥から沿線に出、学校に通勤されているというお話は聞いたことがあった。窯元と何か関係がおりになったのかも？ 実は不義理にも卒業以来、先生には一度もお会いしたことがないのだ。疎開、転居を繰り返した終戦前後あの頃とはいえ、今になって何と不義理なことかと後悔しきりである。



大柄で背も高かった N 先生、オールバックの髪をキッチリ整え、エラがはって大きなお顔だが太い眉の下にはいつも優しい切れ長の目で微笑んでおられた N 先生。湯呑を見るたびに懐かしい先生のお顔がうかんでくる。

高校時代、田舎から出てきて、よそよそしい

都会の生活に苦勞したあの頃も、湯呑は私の本箱の片隅にいつもきちんと飾られていた。ゆーらり立ち上る湯気を見ながら安物のお茶を飲むことは宿題からの解放には大いに役立った。しかし、兄弟喧嘩の度に本箱のノートや書籍は完全な襲撃を受け、全てが掻き落されたこともしばしばであり、大切な湯呑もごたぶんにもれず床に吹っ飛んでいた。幸いなことに畳の部屋だったことで災難を逃れた。何となくさっぱりしない浪人時代も、同じように湯呑は私に静かな安堵感を与えてくれた。医学生になり一気に目標を目指して動き出したあのころ、お茶をいれ湯気をゆっくり感じるうつろな時間は日常から徐々に少なくなり、湯呑だけが本箱の棚の目立つ場所に鎮座していた。矢張りこの湯呑は僕の宝物だった。

時はたち新婚生活が始まった。親父が手に入れていた戦前築のあばら家に多少の手を加えた新居での生活が始まった。ご多分に漏れず生活用具は多くが新しいものに入れ替わった。新しい食器棚が入りキラキラした洋食器が棚を眩しく飾っていた。僕は何も言わずにあの湯呑をその中心に据えた。今やあののんびり立ち上る湯気を感じるいとまさえない大車輪の生活の毎日だった。

ふとある日気が付くと湯呑が中心から少し外れた位置に鎮座していた。僕は **wife** には何も言わず、元の位置にもどしておいた。しかしこの湯呑、足が生えたように棚の上であっちに行ったりこっちに行ったり。たまたま僕はことの由来を **wife** に話した。**wife** は決して反論はしなかったが、その顔には“私の選んだ食器の中であの湯呑、内側を覗いたら茶渋で真っ茶色に変色したあんなもん全然似合わへんわ”との意向がありありとうかがえた。

時が経つにつれてこの湯呑の比重も少しずつ軽くなったのであろうか。ある時には食器

棚から消えているのに気付いたこともあった。何か機微に触れるようなことでもあったのか、相当の時間をおいて“あれ、知らんか？”と持ち掛けたが一向に反応が無い。まさか割ってしまうこともなかろうと、こちらも長期戦でかまえていた。何年も、いや何十年もあの湯呑を見たことがなかったが、ある時突然何の予告もなしにあの食器棚の真ん中に鎮座しているのをみつけた。それは **wife** が不治の病の宣告を受けたあの頃の話であった。

全く話は変わるが私は山歩きを趣味とする。「百里の道も一歩から」の実行編である。今年は梅雨の合間を見て知る人ぞ知る“ダイヤモンドトレイル”の踏破を試みた。即ち、大阪府の南東から南に連なる山並み、北の端の出発点は近鉄南大阪線二上山駅北に位置する鈍鶴峯(ドンズルボウ)即ち大和川が奈良盆地から大阪平野に流れ出るそのあたり、そこから南に向けて二上山、岩橋山、大和葛城山、金剛山、ここから西に向かって神福山、紀見峠、岩湧山そして槇尾山を終着点とする約 60km のトレッキングコースだ。最近はやりの山岳トレッキングのコースとして、古い縦走路に手を加えて設営されたものだ。もちろん私はトレッキングの競技に参加するのではなく全く **my pace** の山歩きを楽しむのだから先を急ぐ必要はない。

約 60km のコースを三つに分けて毎回約 20km を 6~7 時間かけて踏破することができた。コースは山脈を忠実にトレースしている。連なる峰々は全てピークを通過するように設定されている。普通尾根筋を歩くとき、山道は登る必要のないピークを避け、できるだけ高低差が出ないように設定されているものだ。しかし、このトレッキングコースは最初から競技を目標に設営されたのであろう。尾根筋にあるピークは全て忠実に通過するよう設定され

ていて、その疲労度には実に厳しいものがあるのだ。

コース中には、ハイキングで有名な金剛山や大和葛城山、岩湧山や和泉葛城山があり、人に出会うこともしばしばである。しかし、少しその域を外れると人影は途端に少なくなる。のんびりと木々の緑を楽しみ、遙かな山並みを眺め、確かあれはどこそこの山など、想像に浸るのもまた楽しみのひとつ、時には地図を広げ磁石を出してあれこれと想いを巡らすのも下界から隔絶された山中ならではの楽しみだ。比較的都会に近いこんな低山でもコノハズクの鳴き声が聞かれることもあり、里山に続くこの山々が単なる都会への土砂流出予防林や、水源補完林でないことに気付かされることも少なくない。

そんな静寂を破るようにドタ、ドタ、ドタ、、、みると真っ赤なシャツにショートパンツ、ストックキングを履き何やら胸にペットボトルのようなものをひっ付けてすりぬけて行った女性がいる。振り返ると背中には何のザックも背負っていない。

「オイオイ、トレッキング競技は分かる、いかに短時間で目的地に着きたいかも分かる、でもなあ、ここは山中や、場所によっては人里にでるのに3時間も4時間もかかる場所もあるんや、そんな恰好で天候でも変わったらどうするんや？怪我でもして動かれんようになったらどうするんや？

おやおや、向こうからすっ飛んできた若いの、裸足にせったまがいの草履履きで吹っ飛んで行きよった。

山道でその足元はないやろう、林道では車のタイヤでもバーストすることも知らんのか！

小旗の波に埋もれて走る街中じゃないんやで、一寸考え違いしてるんじゃないですか。」

最終レグ、紀見峠～榎尾山は少々厳し

かった。標高約 900m の岩湧山を越え、一旦約 250m の滝畑ダムまで下り、再び 600m の榎尾山頂を越え向こう側の里まで下らねばならない。ダムから榎尾山へのとりつきがわかりにくいうえ、行程の最終盤での山越え、その先のシャトルバスの時間を考える、気ばかりがあせり、足の運びのついていかない苦しいフィナーレとなった。

それでも屯鶴峰に発し榎尾山に終わる約 60km のダイヤモンドトレイルを無事踏破することができたことにひとまずの達成感を味わうことができた。

このダイヤモンドトレイル、出発地から半ばごろまではコースも整備され、こぎれいな石柱も随所に見られたが、終着地に近づくにしたがって石柱の数も道標の数も減り、ダイヤモンドトレイルを歩いているとの高揚感も次第に薄くなったことも否めなかった。

終着地榎尾山から西を望むとなお峰々は幾重にも続いている。せっかく山並みが続くのになただ見ているだけではもったいない。下山路ではその先のコースのイメージが浮かんで消え、消えては浮かび、いまや最終目的地は榎尾山ではなく遙か西、大阪府と和歌山県を隔てる紀泉高原を縦走し、最終的には地が海に落ちる所までへと膨らんでいた。

不言実行、天気を慎重に選んで次は榎尾山から三国山経由、鍋谷峠まで、その次は鍋谷峠から和泉葛城山経由犬鳴山、その先は犬鳴山から梵でん山経由根来街道までと、飽きることなく行軍は続いた。読んで字のごとく根来街道葛畑とはもはや和歌山市の市街地まで指呼の地点、そんな所まで軌跡を伸ばしたことになる。

根来街道？MARS 各局には聞き覚えのある名前かも、その昔、MARS 和歌山総会の時、関空から総会会場に駆け付けたあの街道な

のだ。

ちょうどこの頃 JF3JON 田中 OM から所用でメールをいただいた。ついでにこの山歩きの奇行のお話をした。

「えっつ、それうちの裏山です。V か U でも簡単に contact できますよ、うちは 2m のほうが強力です。」

「それじゃ来週はお願いします。僕は IC-2s を持っていきますから毎時 00 分でお願いします。09:00 はまだ尾根筋まで上がれないだろうから 10:00 からお願いします。」

毎回のことだが、前回下山したルートを逆に尾根筋まで戻り、縦走を続けることが、私のこのトレイルの鉄則である。忠実に軌跡をつなぐためである。しかし、このことで毎回頭を悩ませた。下山は全て山脈の鞍部から麓の集落到下るのだが、その集落と鉄道沿線をつなぐバスの路線が全く貧相なのである。乗用車の普及で頻繁なダイヤを組む必要もなくなったのであろう。午前に2本、午後に2本、などというもごく当たり前で、その時刻も朝は7時台、午後は早すぎる3時台とか遅すぎる6時台などがごく当たり前の状態であった。そのうえ幹線道路ではトンネル化が普及しており、峠越えなんて風流な景色はとっくの昔に消滅していた。たとえ希少なバスを利用できたとしても、尾根筋にたどり着くには実に不便な山里で下車を余儀なくされ、そこから尾根筋まで登らねばならなかった。逆に、厳しい尾根歩きを終えようやく人里に下りてきても頼みのバスがなく最寄り駅まで街道筋をスタスタ歩かねばならないことも一度や二度ではなかった。

ところで JON さんがうちの裏山と称したこの日のコース、以前から僕には少々気の重い区間であった。たかが 300~400m の人里にも近い低山だが、ハイキングや登山としては普

及しておらず、どの解説書にも高難度のコースと示され、地図には(迷)とか(危険)のマークがつけられているのだ。コースには〇〇新道の名前がつけられており、めったに人が入らない区間のようにであった。

さて当日、困ったことに尾根筋にでるにもとつきがわからない。畑仕事中の気の良さそうなおばーさんをつかまえてやんわりと尋ねてみる。昔、あの辺からリュックをかついで山に入っていった人をみたとか。はい、有難う。おばーさんの指さすあたりからとつつか。とにかく尾根筋まで出ればなんとかなるだろう。

それにしてもものすごい蜘蛛の巣が次々に行く手を阻む。小枝をとって体の前を払い払い前進するが小枝がみるみる綿菓子のようになる。ようやく尾根筋に出るも今度は倒木が行く手を阻む。悪戦苦闘の中、前進のスピードも極端に落ちる。ヤッサモッサしている人間をみて、10m ほど先に丸々として薄茶色の毛をフサフサ膨らませた狸がじっとこちらを観察するように動かない。畜生！この苦労がわからんのか！

と、ガツーンと JF3JON の信号が飛び込んできた。我に返った JH3AEF/m も何もなかったように応答する。小さな handy 機だが信号強度は 59++、当局の信号も 59 で届いているらしい。handy でもメリ 5 で contact できる距離に OM がいるということは、不安を鎮めるためにこれ以上のものはなかった。見えないふみ跡を探し探し、無数に張られた蜘蛛の巣を払いのけながら、そして時には compass で方位を確かめながら意外と着実に歩を進めることができた。

この日の終着地、麓の遊園地にたどり着くことができたのは遊園地が閉門になる 30 分ほど前であった。遊園地の柵をくぐってその

中をノソノソと出口のほうに進むと、げげんな顔付きの高齢の従業員が

「どっから入ったんよー？」

帽子から、肩のあたりから蜘蛛の巣だらけでヨタヨタ歩くこのじじい、切符も買わんと潜り込みよったと思ったに違いない。

「根来街道から来たんやっしょうー」と和歌山弁で返してやった。

「そらえらいわー」信じられんという顔で踵をかえして去って行った。

最初の発想はダイヤモンドトレールを踏破しようであったが、夢は膨らみ、この山脈が紀州の海に落ちる所まで歩きとうしてやろうということになった。その願望はあと一日の行程で達成されそうな気配になってきた。

さらにその先が！！

一筆書きは MDnet3.5MHz の JA1KXT のおはこ、ひとの専売特許を拝借しようとするからいけなかったのかも知れないが、とにかく海に出る所まで歩かねば一筆書きの「ひと」も

完成したことにはならない。しかし、この一筆書きの発想が、夢をさらに膨らませてしまった。即ち、その一筆書きとは、大阪湾を取り巻く山々、大阪と京都の境、即ち、大阪府の北東部から東側、南東から南側、そして大阪湾の南の玄関、友が島に渡り、そして淡路島に上がり湾の西側を形成する山並みを、また明石海峡も渡り湾の北壁をなす六甲山系、そして北摂山系と結べば、振出の大阪、京都の境界に戻ったことになり、大阪湾を取り巻く山々を一筆書きで歩いたことになるのだ。現時点までの経過を見ると#1HR 程困難、いや時間はかからないだろうとも見える。だがこの正月が来たら満 80 歳になるこの俺に、神は味方するだろうか。冬場は TOP BAND の watch も欠かせないし、しなければならないことが多くて困るわ！！！！

ところで、ところで“百里の道も一歩から”真に、真にそのとおり。



庶務とMARS ニュース

入・退会、コールサイン、住所の変更などの事務手続きは**MARS事務局**へ。

〒175-0092 東京都板橋区赤塚4-17-11

井上医院内

日本医師アマチュア無線連盟

電話 03-5968-5777

F A X 03-5968-5778

E-mail fumimasa@cb3.so-net.ne.jp

MARS ニュースへの御寄稿は、

〒640-8331

和歌山市美園町5-1-8山榮ビル3階

眼科田中クリニック内 MARSニュース編集部

電話 073-427-3010

F A X 073-427-2135

E-mail marsnews@tanakaclinic.jp

まで、お送りください。

パソコン(またはワープロ)の場合、再入力の手間を省くため、USB メモリーもしくは CD-R の郵送、または E-mail でお送りください。特殊記号などが文字化けすることがあり、プリントアウトした原稿もファックスまたは郵送してください。なお、紙面の都合により、原稿を短縮させていただいたり、写真の選択やトリミングをさせていただくことがありますので、ご了承ください。

Call Book の改訂に 際しご協力をお願い

今回は平成26年3月にコールブックを発行させていただきましたが、平成30年春を目途にコールブックを改訂して再発行する予定でございます。

今回同封の『Call Book2018年版 掲載内容確認書』にご記入の上、平成29年12月20日までに、眼科田中クリニック内 MARS ニュース編集部まで FAXで返信いただくか、メールへのファイルの添付もしくはメールの本文に必要事項をご記入の上 marsnews@tanakaclinic.jp まで E-mail にてご連絡ください。

日本医師アマチュア無線連盟会報

(第77号)

発行：日本医師アマチュア無線連盟

発行日：平成29年11月10日

編集：田中憲児(JF3JON)

印刷：西岡総合印刷株式会社

Tel073-425-1341 Fax073-436-0855

URL <http://www.nishioka.co.jp/>

E-mail info@nishioka.co.jp

日本医師アマチュア無線連盟(MARS)の活動と入会方法について

MARS は、1977年(昭和52年)に創設されたドクターハムの親睦のための団体で、既に40年の歴史を持ち、次のような活動を行っている。

1) 総会と懇親会

毎年4月の第一土曜日の午後、全国各地で総会と懇親会を開催している。(平成30年は4月21日に日立市において開催予定)

2) 毎水曜日の朝、3.565MHz(06:00～06:30)及び 7.150MHz(06:30～07:00)付近でロールコール(MD ネット)を行っている。

3) 日本医師アマチュア無線連盟会報

(MARS ニュース)を毎年発行している。

4) MARS 医学アワードおよび MARS 医学アワードⅡの発行。

5) クラブ局(JM1ZZM)および日本医学会総会特別記念局(8JnM)を設置している。

6) MARS のホームページを開設している。

URL は <http://www.jmars.jp/>

(談話室へのパスワードは mars)

会費：入会金 5,000 円、年会費 8,000 円

入会方法：事務局にご連絡下されば、入会書類をお送りします。

会長 及川忠人(JA7AOM)